

1号機 原子炉格納容器内窒素封入設備 実施計画変更に伴う追加説明について

平成28年4月7日
東京電力ホールディングス株式会社

- ①仮設防潮堤を越える津波により破壊や損傷が生じると想定する範囲はどこか。また予備品を用いて復旧する場合はどのように復旧するのか。

窒素封入設備のうち、O.P.10000に設置されている範囲は仮設防潮堤を越える津波の影響により機能が喪失すると考える。

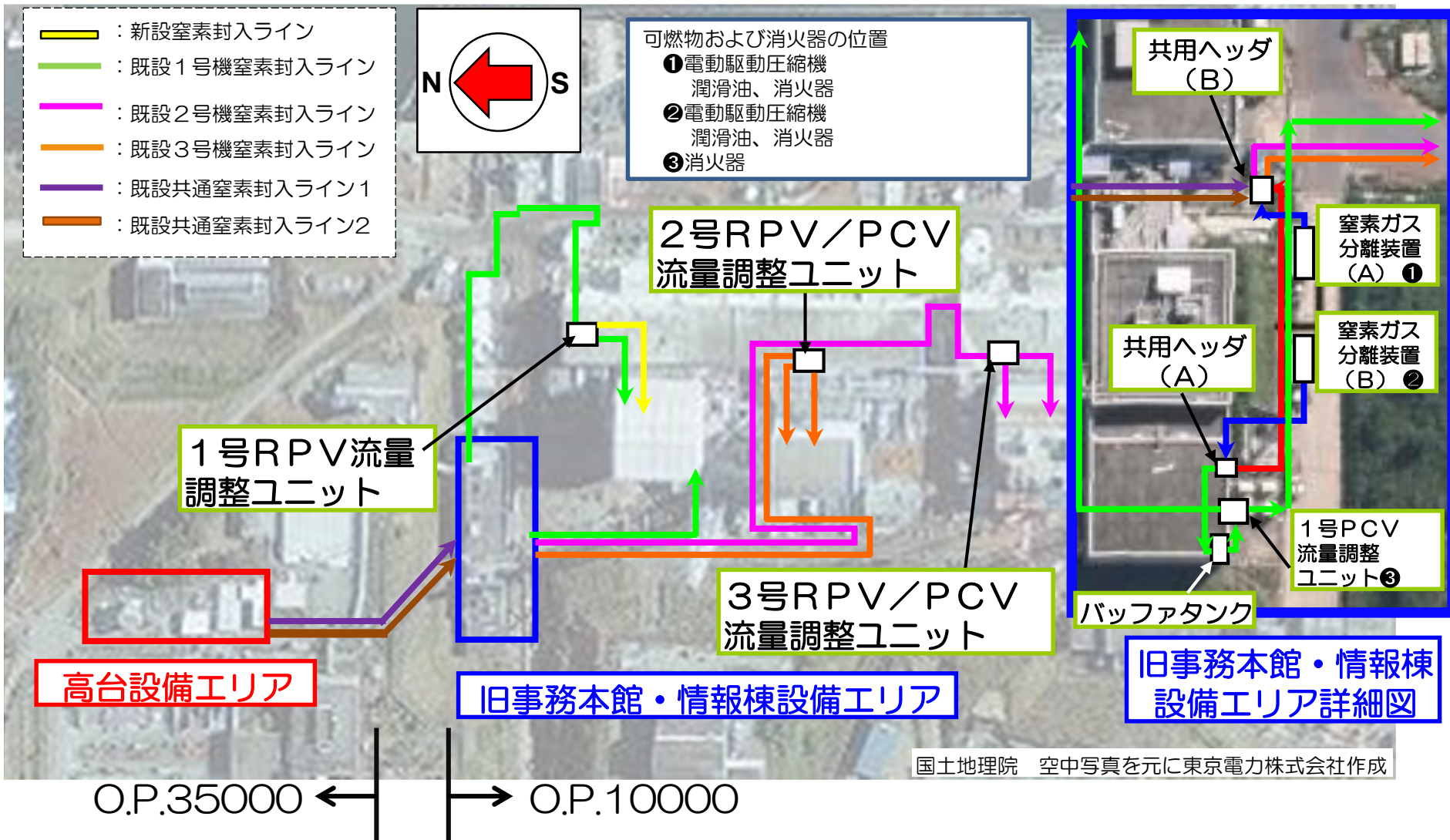
そのため、津波の影響を受けない高台設備エリア（O.P.35000）に設置している窒素ガス分離装置、共用ヘッダC、および予備のゴムホースを用いて、速やかに窒素封入を再開する。

今回、1号機に新たに設置する窒素封入用弁モジュールや流量調整ユニットが津波により機能が喪失した場合においても高台の設備エリアに保管している予備のゴムホースを敷設する。なお、流量調整については、高台にある流量調整弁にて調節が可能であることから速やかに窒素封入を再開できる。

- ②当該系統における潤滑油やD/G用燃料等の可燃物及びその初期消火に用いる消火器の位置を示すこと。なお、これらの可燃物は、今回設置するラインに影響はないか？

潤滑油やD/G用燃料等の可燃物、消火器の位置を図中①～⑥に示す。なお、これらはいずれもタービン建屋・原子炉建屋外にあり、今回同建屋内に設置する窒素封入ラインには影響を与えない。

窒素封入設備全体システム俯瞰図



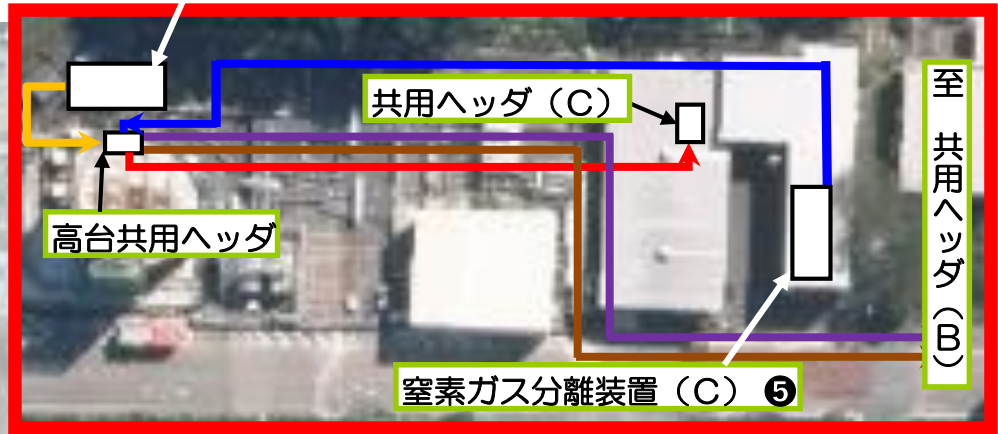
津波対策用予備ホース敷設ルート図

- (Orange) : 想定敷設ライン①
- (Yellow) : 想定敷設ライン②

可燃物および消火器の位置

- ④ディーゼル駆動圧縮機、発電機
軽油及び潤滑油、消火器
- ⑤電動駆動圧縮機
潤滑油、消火器
- ⑥潤滑油、消火器

非常用窒素ガス分離装置④

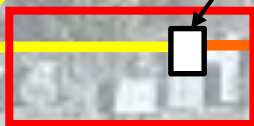


高台設備エリア詳細図

危険物保管庫⑥



共用ヘッダ (C)



高台設備エリア

国土地理院オルソ画像を元に東京電力株式会社作成